

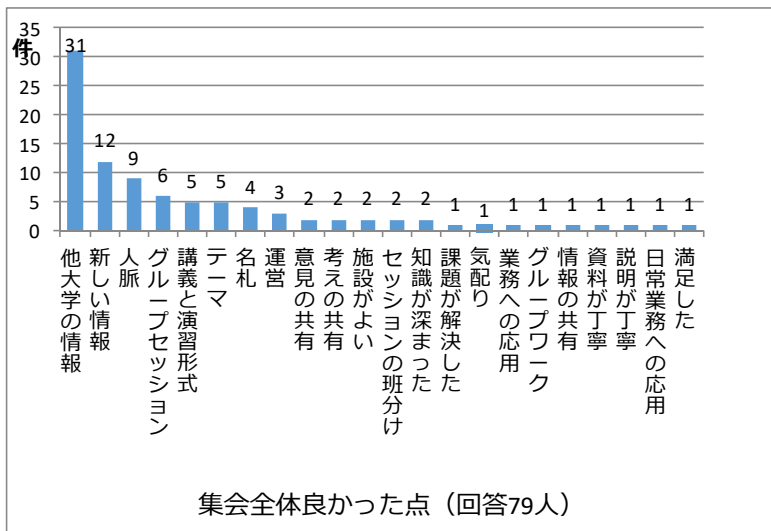
平成 28 年度大学評価担当者集会 (H28. 8. 25-26)

参加者全員へのアンケート結果

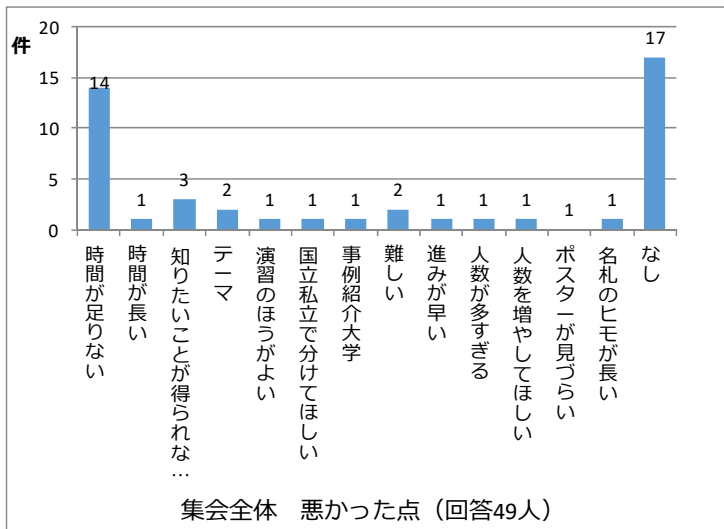
アンケートは、参加者 122 人 (うちスタッフ 14 人) 中 101 人から回答があった。

3. 大学評価担当者集会全体を通して

3-1. 大学評価担当者集会全体を通して



良かった点については 79 人から回答があった。特に多かった意見は「他大学の情報を得たこと」、「新しい情報を得たこと」、「人脈が広がった」、「グループセッションや演習形式」であった。



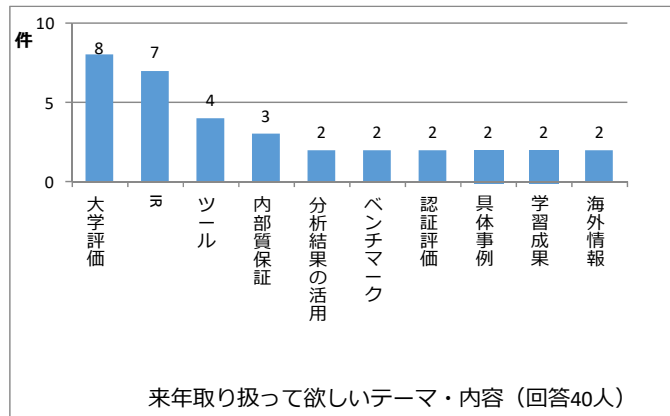
悪かった点については 49 人から回答があった。「時間が短い (全体会、実践セッションでの時間不足)」、「知りたいことを得られなかった」、「(全体会について) 内容が難しい」などに複数の意見があった。

時間配分については否定的な意見が寄せられている。大きく分けると、もう

少し議論の時間を長くにとって欲しいということと、全体会の内容が詰め込みすぎということである。全体会に関しては、参加者の背景知識や実務経験年数に差があることから、難易度に配慮したプログラム企画を検討したい。

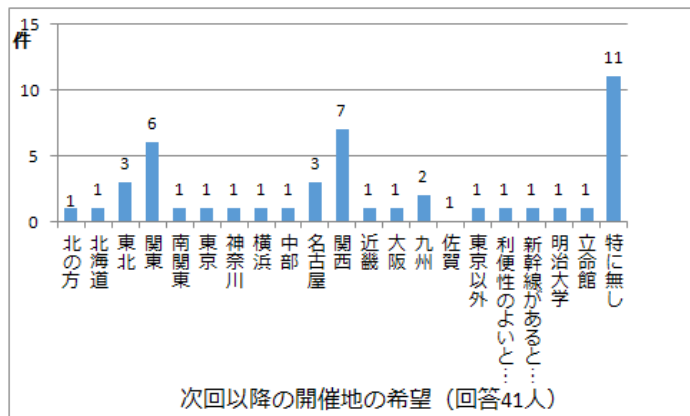
### 3-2. 来年取り扱って欲しいテーマ・内容

40人から回答があった。グラフには、複数の意見があったテーマのみ記載している。大学評価に関することと、IRに関することに意見が集まった。その中でも具体的に、大学評価では認証評価や内部質保証について、IRでは分析事例や分析ツールについてとりあげてほしいという意見があった。また、IRについては、学生調査、経営、外部資金獲得など、より細かいテーマについて要望があった。



### 3-3. 次回以降の開催地の希望

41人から回答があった。このグラフではエリア別に並べてある。昨年から開催会場を少々東へ移動させたが、引き続き関西地区（近畿・大阪を含む）開催を希望する意見が多かった。関東地方での開催希望の声も高い。参加者が近くの会場を希望していることが伺える。



### 3-4. その他の意見

43人から回答があった。開催への御礼、スタッフの準備等に対する労いが記されたものが多かった。集会に参加して得たものを挙げて満足伝えるコメントもあった。また、会の進め方について、具体的な改善アイデアもいくつか頂戴した。

今年の集会も100人を超える参加者を得て、盛況のうちに2日間の日程を無事終えることができた。これも参加者の皆様が、演習やグループ討論形式の企画に積極的に参加してくださったお陰である。参加者人数については、もっと増やしてほしいという意見も散見されたことや、申込み枠がすぐに定員に達してしまうことなど検討の余地を残している。

今回のアンケートでいただいたご意見は、次回以降の企画の参考にさせていただきます。

(藤井 [名古屋大])